

令和 3 年度

学校関係者評価報告書

令和 4 年 7 月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

令和3年度 学校関係者評価報告書

平成20年度に学校教育法施行規則が改定となり、専門学校による学校自己評価の実施が義務化されたことを受けて、東北保健医療専門学校では、平成24年度より教育活動実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、問題点を明らかにした上で、次年度の教育活動や学校運営の改善に活かし、開かれた学校づくりを進めることを目的とした「学校自己評価」を実施しています。

さらに、平成25年度からは、卒業生、関係業界、学識経験者から成る「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者による評価も実施しております。

令和3年度の教育活動や学校運営などについて、全教職員で学校自己評価を実施しました。その結果に基づき、学校関係者評価委員会を開催し、多くの貴重なご意見やご指導を頂きました。

今後とも学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでいく所存です。

1. 学校関係者評価委員会（令和4年6月22日実施）

学校関係者評価委員

菊田 正信 氏	学校法人日本コンピュータ学園	卒業生（委員長）
三浦 陽平 氏	独立行政法人国立病院機構宮城病院	作業療法士
渡部 達也 氏	株式会社わざケア	代表取締役
渡邊 好孝 氏	医療法人社団光友会	介護老人保健施設アルパイン川崎 地域包括ケア推進部 部長

事務局

清水 逸	校長
大苗 敦	法人事務局 部長
上遠野純子	東北保健医療専門学校 教務部長
佐藤 美加	東北保健医療専門学校 教務課長
和地 辰紀	東北保健医療専門学校 教務課長
木田 真千子	東北保健医療専門学校 教務主任
藤井 貴	東北保健医療専門学校 教務主任
淀川 裕美	東北保健医療専門学校 教務主任
鈴木 香織	東北保健医療専門学校 総務課長
岩渕 富美子	法人事務局 課長代理（書記）

2. 評価対象期間

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

3. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様に「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見を頂きました。頂いたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価、意見、提案を報告します。

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

■基準1 教育理念・目的

評価 4

- ・ 教育理念・目的・育成人材像、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーは明確に定め、学生便覧・学修要項(運営方針・教育計画)・入学案内・ホームページで広く周知している。
- ・ 教育課程編成委員の意見を踏まえ、業界ニーズに基づいてカリキュラム内容を検討している。また、履修ルールや再履修のあり方を見直すなど、より良い学修環境を整備している。
- ・ 医療秘書科・医療情報管理科を統合し、新設学科「総合医療事務科」を設置し、令和5年度入学生より募集を開始している。
- ・ 総合医療事務科において、施設や事業所内のS Eのような仕事、または一般的な会計処理ができる人材の育成は、リハ職などの事務負担軽減につながるため積極的に取り組んで頂きたい。

■基準2 学校運営

評価 4

- ・ 学則の目的、基本方針及び職業実践専門課程の目的に基づいた運営方針を策定している。
- ・ 基本的なビジョンを「倫理観をもつ高度な臨床専門家の養成」として3つの運営方針を掲げている。
 - 【方針1】各学科の学科編成・修業年限・定員・カリキュラム編成の検討
 - 【方針2】退学せずに進級し卒業する教育システムの整備
 - 【方針3】学校組織の機動的な運営のための体制づくり
- ・ 人事、給与の制度は法律改正に合わせた見直しを適宜実施し、整備、運用している。
- ・ 学校運営管理上、組織的に情報を共有し、問題や課題に対して十分に検討し改善することができている。さらに役割を明確にして迅速に対応頂きたい。

- ・ Desknet's（グループウェア）やファイルサーバーなどの利用により業務の効率化は図られている。出席管理及び成績管理システムを導入することで、さらに業務の効率化を進めて頂きたい。

■基準3 教育活動

評価 4

- ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を策定している。引き続き、養成校指定規則や職能団体のガイドラインに基づき、業界ニーズを踏まえたカリキュラムや教育方法を検討し、より良い改善に努めて頂きたい。
- ・ 教育課程編成委員の意見を参考に、一定の教育到達レベルに達するため、講義や演習において様々な工夫をしている。また、対面授業とオンライン授業を併用することで、教員は学生と十分なコミュニケーションが取れている。
- ・ 次年度以降、理学療法科・作業療法科については 2025 年度の指定規則見直しの動向を見据え、4年制への移行など修業年限について検討していく。
- ・ 総合医療事務科(令和5年4月開設)は実習を取り入れるなど、職業実践的なカリキュラムで編成されている。今後地域包括ケアに資する人材育成の必要性を考慮し、全学科において関連職種との連携の在り方について検討し、学修内容にも反映させて頂きたい。
- ・ 授業評価は学生から講義演習に関する授業アンケートを実施し、その結果は教員に伝達している。今後も評価内容を活用し改善に努めて頂きたい。
- ・ 教員の研修については、専門分野の最新技術・知識や指導力向上のための研修を必要に応じて実施している。令和3年度は研修会参加回数が大幅に増えたことにより、教員の資質向上に繋がっており、より良い取り組みができています。
- ・ 実習受け入れ施設・事業所としても、臨床実習指導者の研修は、オンライン開催を含めてそのような機会や時間を広く受け入れて頂きたい。

■基準4 学修成果

評価 4

- ・ 就職については、担任と就職センターが連携し、学生への早期意識づけを行うなど、きめ細かな支援をすることで良い結果が出ている。
- ・ 学校全体として資格取得率の向上が図られている。引き続き国家資格・各種資格試験の合格率向上のため学科単位、学校全体として、さらなる対策強化に期待したい。
- ・ 退学率低減のために、入学前学習支援を導入し、入学直後からはオンラインも含めた学生面談をきめ細かく行うなど、早期に学生の状況把握に努めている。引き続き、退学率低減に向けた取り組みは強化して頂きたい。

- ・ 学生の進路・就職については、就職センター専任職員から定期的な報告を受けることにより、学生の進捗状況が明確になり、担任との連携が促進されている。コロナ前に学生が施設や事業所の見学ができない状況ではあるが、オンラインでの説明会や面接試験対策として、できるだけ質問をしてアピールするなど面接官に積極性を見ていただけるよう学生に伝えて頂きたい。
- ・ 学生相談に関する体制は整備されており、問題・課題に応じて学生サポート室・保健室・カウンセラー・就職センター・校長が連携し解決に導くことができている。
- ・ 生活面及び健康管理に対する支援体制は整備されている。引き続き、感染予防対策についてはより良い取組みを継続して頂きたい。
- ・ 学校と保護者との連携については、通常学習に加え、健康支援、学費面に関して、保護者と個々に対面や電話、オンラインでの面談等適切に行っている。
- ・ キャリア教育・職業教育の取組みとして、介護福祉科の高校訪問ガイダンスや介護従事者確保対策事業で高校を訪問するなど、積極的に情報発信している。今後も職業理解を深める企画の実施や高校と連携した取組みを推進して頂きたい。

- ・ 施設・設備は学科や学生数、利用状況に応じて十分確保されているかを適切に把握することで、今後も整備・更新を計画的に検討して頂きたい。
- ・ 学内外の実習地確保については、学校として組織的な取組み（契約施設の確保、付属診療所や施設の確保）が必要であり、同時に実習受け入れ施設に所属する臨床実習指導者の確保も必要なため、研修会を企画し実施するなど今後も取組みを強化して頂きたい。引き続き各学科においてより良い教育体制の整備を期待します。

- ・ 学生募集広報活動は適正に行われており、教育成果も正確に伝えられている。今後も入学希望者に積極的に情報発信するとともに、職業理解を目的とした「体験実習」を充実させるなど、入学後のミスマッチを防ぐ取組みを継続して頂きたい。
- ・ 入学希望者に対する学校選択のきっかけ作りや判断材料として、SNSを活用した情報発信は今後積極的に取り入れることで、より多くの高校生に学校の特色を伝えていく手段として活用を検討して頂きたい。

- ・ 学納金は、教育内容や教育環境、他校の学費水準に照らし協議のうえ決定されていることは、妥当であると考え。さらに卒業までに必要な経費全てについても、募集要項に記載され、透明性のある情報提供を行っている。

■基準 8 財務

評価 4

- ・ 学校の財務状況及び会計監査は適正なものであり、今後も予算編成・執行等、財務基盤の安定に努めて頂きたい。
- ・ 財務状況はホームページ上で公開されており、情報公開の体制整備ができています。

■基準 9 法令等の遵守

評価 4

- ・ 関連法令・施設設置基準ならびに個人情報の取り扱いについては、適正に周知・遵守している。
- ・ 個人情報の保護については規則や基準に基づき、学生及び教職員へ周知するとともに、適切に管理・運用している。
- ・ 学校自己評価を実施し、課題の明確化を行っている。さらに、次年度の具体的な行動目標を教職員全員で共有し、課題改善に向けた意見交換や関係機関への相談を適切かつ積極的に行っている。
- ・ 自己評価結果は適切に公開している。

■基準 10 社会貢献・地域貢献

評価 4

- ・ 介護福祉科は介護人材育成事業の受託、歯科衛生科は宮城県歯科医師会、宮城県歯科衛生士会とともに宮城県歯科衛生士離職者支援事業協議会に参画し、研修企画などに携わった。また、臨床実習指導者研修会の企画運営や各職能団体の学会において、本校教職員が講師などとして積極的に参画している。

■基準 11 国際交流

評価 4

- ・ 姉妹校・仙台国際日本語学校の卒業生のベトナム人留学生 5 名が介護福祉士国家試験に合格し介護施設に就職しており、今後その実績を積極的に学生募集活動に繋げて頂

きたい。

- ・ 留学生の受け入れや在籍管理等は適切に管理しており、学園内で連携した取り組みを行っている。
- ・ 介護福祉科の「国際理解と外国人交流」の授業では、日本の介護現場で働いている2名の外国人を招き、海外の両親や家族とオンラインで文化や習慣の違いについてディスカッションした。介護福祉科のカリキュラムを参考に、今後他学科でも国際交流について学ぶ機会を取り入れることを検討して頂きたい。
- ・ また、宮城県内において留学生が介護現場に就職した好事例として積極的に情報発信して頂きたい。

以上

学校法人日本コンピュータ学園 東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号
